

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社評価基準研究所

②事業者情報

名称：	レイモンド坂戸保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	施設長 柳田 敬子	定員(利用人数)：	98 名
所在地：	〒350-0256 埼玉県坂戸市善能寺43-15	TEL	049-298-6206

③評価実施期間

令和 7年 8月 21日（契約日）～令和 8年 3月 14日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

【理念を具現化した環境構成と探究的プログラムにより質の高い保育が実践されている】
園の保育は、理念を単なる言葉として掲げるのではなく、環境構成と日々のプログラムに具体化されている点に大きな特徴がある。木の温もりを活かした空間設計や、子どもが自ら選択できるコーナー保育の構成は、主体性を育むための意図的な環境づくりといえる。また、チョーク造形やリズムック、探究活動等は単発的な体験ではなく、子どもの「なんだろう」の連続を支える構造として展開されている。乳児期の育児担当制による安心感を基盤に、幼児期の協同的活動へと発展させる一貫性も認められ、理念と実践が高い水準で接続された保育が実現している。

【理念を中核に据え、言語化されたマネジメントで質の高い保育を実現している】
園は保育理念を組織運営の中心に据え、日々の保育実践へと着実に落とし込んでいる。理念が単なる標語にとどまらず、事業計画、係活動、人材育成へと体系的に接続されている点は高く評価できる。園長は高いマネジメント力を有しつつも、職員一人ひとりに寄り添うボトムアップ型の姿勢を貫き、「半歩先」を示しながらも職員を置き去りにしない運営を実践している。保育事業の根幹である「質の高い保育の長期安定的提供」を実現する基盤は既に整っており、今後はマネジメントの更なる言語化を進めることで、再現性と持続性が一層高まることが期待される。

【ビジョン実現に向けた全職員の主体的参画と、次世代育成を見据えた重層的運営体制を整えている】
法人ビジョンである「ソーシャル・インクルージョン」の実現に向け、施設目標として「キラキラチェンジ」を掲げ、全職員が主体的に参画する組織づくりを推進している。運営にあたってはトップダウンに偏ることなく、事業計画の策定への全員参加や、得意分野を活かした係活動を通じて職員の自律性と当事者意識を引き出している。意思決定はリーダー層を中心とした合議を基本とし、中堅職員をサブリーダーとして育成することで、組織の持続可能性を見据えた重層的運営体制を構築している。その運営姿勢は日常保育の質にも確実に反映されている。

◇特にコメントを要する点

【安定した組織運営基盤のもと、将来を見据えた次世代マネジメント層育成の戦略的設計が期待される】
現在の組織運営は安定しており、理念実現に向けた体制は実効性をもって機能している。全職員参画型の計画策定や係活動を通じて当事者意識が醸成され、現場の専門性も高い水準にある。一方で、組織の持続的発展を見据えると、次世代マネジメント層の育成をより戦略的に設計していく視点が重要となる。現場で高い専門性を発揮する職員が多いことは本園の強みである。その強みを尊重しつつ、役割の意義や裁量の広がりを可視化し、段階的な責任付与を行うことで、将来的な経営基盤はさらに強固になると考えられる。その取組は園の持続性向上にも資するといえる。

【組織機能の安定を基盤に、主体的に問い直す文化と次世代基盤の深化に期待する】
 法人本部が策定した各種マニュアルを基盤とし、園長を中心とした運営体制やICTを活用した記録・共有の仕組みを整備することで、組織としての機能は高い水準で安定している。制度や手順が整い、一定の質が担保されている点は評価に値する。一方で、成熟した組織であるからこそ、既存の仕組みを前提とするだけでなく、その背景や意図を定期的に言語化し、共有し続けることが次の段階に求められる。今後は対話の機会をより意図的に設け、職員一人ひとりが「なぜこの取り組みを行うのか」を自ら問い直し、主体的に改善を重ねていく文化の深化が期待される。

【園の理念である主体性の育成を踏まえた休息の在り方について段階的な見直しの検討に期待する】
 SIDS対策に基づく安全管理は徹底されており、安心して休息できる環境は十分に担保されている。一方で、園が大切にする「主体性」や「一人ひとりの発達への丁寧なまなざし」に照らすと、休息の在り方にも更なる検討の余地がある。特に4・5歳児においては、就学後の生活リズムを見据え、発達段階や家庭での睡眠状況に応じて午睡から静かな休息への段階的移行を図ることは、子どもが自らの身体感覚に気づき調整する力を育む契機となる。全員一律ではなく、その子にとって最適な休息の形を模索することが、理念の体現につながると期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度は当園の保育および運営について丁寧なご評価とご助言をいただき、誠にありがとうございました。日々の保育実践や職員の取り組みを評価していただけたことを大変ありがたく受け止めております。

また、休息の在り方についてのご指摘につきましては、安全面への配慮を大切にしつつ、子どもたちの主体性という視点からも今後の保育を見つめ直していく大切な示唆として受け止めております。今後も子ども一人ひとりに寄り添いながら、より良い保育を目指して取り組んでまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり